

流鏑馬、みこし、総おどり…

秀郷まつり盛大に

佐野

【佐野】市最大の夏祭り「第23回さの秀郷まつり」が8、9の両日、JR佐野駅周辺で開かれた。流鏑馬やみこし・おはやし巡行などが行われ、大勢の市民らで市中心部は大いににぎわった。

8日に行われた流鏑馬は、市ゆかりの武将藤原秀郷が弓術の達人とされることから毎年実施しており、こころしは城東中学校庭の会場に観客約500人が集まった。射手10人はそれぞれ、馬にまたがって特設の

馬場を駆け抜けながら3枚の的を目掛けて矢を放っていた。

夜に行われた「市民総おどり」では、浴衣姿の市民ら約1100人が「さのまの音頭」「よきこい」などを披露した。

9日は恒例のみこし・おはやし巡行が行われ、地元神社のみこし奉賛会「佐野睦会」が制作した担ぎねぶたをはじめ、みこし計10基が町じゅうを練り歩いた。

また万町の佐野商工会議所駐車場などでは「ゆるキ

多くの観客が人馬一体の妙技を堪能した流鏑馬（大平正典撮影）



ャラグランプリ2015プレイベント」が行われ、佐野ブランドキャラクター

「さのまる」をはじめ、熊本県の「くまモン」や群馬

計15体のゆるキャラが集結、会場を盛り上げた。

（岩崎駿祐）